



地球にやさしい 環境にやさしい

リユース食器を使って イベントごみを減らそう!



【リユース食器ってなあに?】

飲食を伴うイベントやお祭りなどでは、使い捨ての紙コップやプラスチック容器などのごみが発生します。リユース食器は、何度も繰り返し洗って使用できる(リユースできる)食器で、使い捨て容器の代わりに使います。

リユース食器の使用回数が増えるほど、使い捨て容器を利用する場合と比較して、ごみの量やエネルギー消費量、二酸化炭素(CO₂)の排出量といった環境へ与える負荷量が少なくなり、地球温暖化の防止、地球環境の保全につながります。



【目的と効果】

1. 3R(リデュース(発生・排出抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用))の推進
2. ごみ処理の手間・費用の削減
3. 地球温暖化の防止に向けた地域の取組を社会にアピール

【平成20年度のリユース食器活用例】

1. 第31回多摩区民祭 10月18日(土)

多摩区民祭では、焼きそばやうどんなどを販売する5つの店舗で、市内区民祭としては初めてリユース食器を使用し、地域通貨「たま」運営委員会や多摩区役所職員等とリユース食器の活用を呼びかけました。



うどんのいったリユース食器をもつ来場者

2. たまりバーサイドフェスティバル2008 11月3日(祝・月)

二ヶ領せせらぎ館近くの河川敷で市民の方々が音楽やダンス、ミュージカルを披露する「たまりバーサイドフェスティバル2008」において、リユース食器を使用しました。川崎産の野菜を使った「多摩鍋」に300個のリユース食器を使用し、企画運営に参加した大学生等によるリユース食器の普及広報が行われました。



リユース食器を使った「多摩鍋」の販売風景

3. 2008川崎国際多摩川マラソン 11月16日(日)

2008川崎国際多摩川マラソンでは、等々力陸上競技場内のゴール付近の給水所でリユース食器を使用し、約4,400個の紙コップごみを削減しました。また、リユース食器の回収率は98.2%と高く、選手の皆様に多大なご協力をいただきました。



給水所で使用されたリユース食器

問い合わせ先: 環境局廃棄物政策担当 電話 044(200)2580